



# かべ新聞 絆 (きずな) <令和6年8月号>

地域住民同士の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を支援し、人づくりと地域づくりに貢献します!

打田地区公民館  
令和6年7月26日  
文責:社会教育指導員  
原 寿宏  
(電話0736-77-3140)

## 受講者に寄り添う講座運営に心がけます!

梅雨も明け、毎日暑い日が続いていますが、皆様、熱中症にはくれぐれもお気をつけください。

さて、現在、当公民館では、来る11月2日(土)・3日(日)に開催予定の「文化祭」を盛り上げていこうと、文化協会打田支部の皆さん方と協議しつつ、例年になく内容を盛り込むなど、鋭意準備を進めているところです。

これまで、文化祭と当館が行う「公民館講座」やその他事業との関連性の薄い感が否めず、また、当公民館としての「文化祭に対する思い描き方も弱かったのではないかと」の反省もあり、今年度は当初から当館主催事業をいかにして文化祭に絡めていくかを意識しながら、事業展開を行っています。

具体的には、文化祭を各公民館講座の「成果発表の場」と位置づけ、いくつかの出演・出店・出演をめざし、各講座の講師の方はもとより、受講者の皆さんにも、気づいたことや率直な感想をお伝えさせていただくなど、そうした雰囲気づくりを大切にしながら、講座運営に努めています。

標題に、「『つどう』『まなぶ』『むすぶ』を支援し、人づくりと地域づくりに貢献します!」と掲げていますが、まさに、その第一歩が、「学習や練習の成果を発表したい!」と願っていたなど、皆さんの「やる気」を鼓舞していくことだと思っています。なかなか難しいことではありますが、やりがいもあります。

話は変わりますが、公民館講座受講者の皆さんは、かなり高い割合で複数の講座を受講されています。中にはいくつかの公民館をはしごしている「つわもの」もいらっしゃいます(笑)。

先だって、「いきいき交流教室」で、館外研修として白浜方面(南紀白浜空港・京大水族館・南方熊楠記念館)に行ってきました。昼食はホテルシーモアでのランチバイキング、さらに足湯も楽しみました。

後日、「自由に野帳スケッチ」も受講されている参加の方から、館外研修時の様子を軽快なタッチで描いたスケッチを見せていただきました。見事に「野帳スケッチ」されていました! 素晴らしい!! (右の写真参照)



### ♥「いきいき交流教室」館外研修(6/21(金)実施)

説明するとキリがないため、写真でその場の臨場感を想像してください。



白浜空港・西川さんからの説明に集中!



熊楠記念館HPから(館内撮影NGのため)

さかなを食い入るように観察しています!



空港にパンダ出没!? (足型がいたるところに)



高垣館長(右)からの「神島」や「天神崎」に関する説明に、熱心に耳を傾ける受講者の皆さん



足湯を楽しんでいます!

### ♥「エンジョイ!ダンス塾」♥

初回の様子から、「受講者の年齢幅はまったく心配なかった」旨、前月号で報告いたしましたが、1回とんで3回目の様子を参観させていただき、その感想が間違いでなかったことを確信いたしました。

皆さん、LINEで共有している模範動画を見て「自主練」されているのでしょうか! すごく様になってきていますし、大人の方が子供を囲んでいきいきと楽しそうにダンスをされていました。

「皆さんすごいです!できる方ばかりです!」との声も多々聞かれます。互いに高め合いながら、この調子で頑張りましょう!!

自分のダンス姿が正面の鏡で確認できるよう、譲り合いの精神で「位置取り」をしていただければと思います。(模範動画から↑)



### ♥「コアチューニング教室」

講師の長尾先生いわく、「このエクササイズは、派手な動きや他の人に見せたり、見てもらったりするという要素はありません。でも、繰り返し取り組んでいると姿勢矯正などにもてきめんに効果が表れてきますよ!」とのこと。スマホで撮った、いわゆる「ビフォーアフター」の写真を見比べながら、皆さんエクササイズに励んでおられます。上の写真のように横になって行う呼吸法では、「気持ち良すぎてつい寝落ちてしまいました」という方も。

なお、先生には、「ペアが固定化しないように」ということと、「見通しをもって取り組むための予定表の提示」をお願いしました。皆さん、より多くの方と交流してください!!



### ♥「目からウロコの雑学講座 ~雑学で“博学”になろう!~」♥

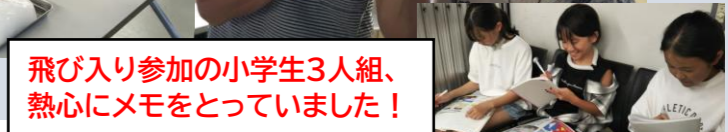
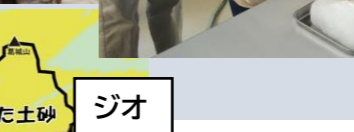
第1回目の「龍門山(自然)」、第2回目は、「歴史遺産」と、そして、第3回目の「ジオ」では、そうした自然環境や文化・歴史を育んできた大地の成り立ちについてと、各回のつながりを考慮し、3つの視点からふるさと紀の川市を掘り下げて学んできました。そして4回目は、視野を広げ、地球全体に目を向けて、そこから「ふるさと」の大地について考えようと、「南極の氷を体感!」を開催しました。



南極の氷



氷が溶ける音に聞き入ってます!



### 地質地形遺産を守るために ジオパークの保全の考え方

地元が中心となった人の活動で地質遺産を守ろうとした。

- ・地元の人が地質遺産の価値を理解して守りたいと思うように  
⇒教育(なぜ大切かをわかりやすく伝える。地域の誇りに。)
- ・化石を売らなくても地域が潤うように  
⇒仕事を作る(ガイドの育成など)。訪問者を増やす。
- ・地質遺産の価値が多の人に伝わるように  
⇒世界中に仲間を増やす(ネットワークの構築)。

